

令和3年度 装飾古墳館・菊文研講座

「装飾古墳と鞠智城が語り・ 伝え・示すもの」

後期の受講者を募集します！（定員50名）

※ 前期・中期・**後期**の3回に分けて募集します。

歴史・文化財に関心をお持ちの方を対象として、熊本県文化課・装飾古墳館・温故創生館の専門職員が、最新の調査研究成果と文化財情報を提供する3期全16回の連続講座です。

前・中期に引き続き、後期5回（第12回～第16回）の受講者を募集します。

後期は、特別史跡指定を目指す鞠智城跡に関する講座を中心に、菊池川流域の祭礼行事も紹介しながら熊本の歴史を考えます。

新型コロナウイルス感染対策を徹底しての実施となります。皆さまのご協力をお願いします。



会 場：鞠智城研修施設（山鹿市菊鹿町米原443-1）

※ 第16回のみ熊本県立装飾古墳館集団学習室

日 時：裏面をご参照ください。

申込先：熊本県立装飾古墳館（菊池川流域古代文化研究会事務局）

①お名前 ②住所 ③電話番号 ④希望される回 の4点をお知らせください。

電 話 0968-36-2151 （月曜日は休館）

FAX 0968-36-2120

メール soushokukofun@pref.kumamoto.lg.jp

令和3年度 装飾古墳館・菊文研講座

○ 後期日程及び講座概要

時間：午後1時30分～3時

会場：鞠智城研修施設（第16回のみ装飾古墳館集団学習室）

定員：先着50名で募集中！ ご希望の講座をお選びください。

	期 日	演 題	講 師
12	12月19日(日)	鞠智城を考えるV —周辺遺跡からわかる機能の変遷—	歴史公園鞠智城・温故創生館 参事 亀田 学
13	1月16日(日)	鞠智城を考えるVI —鞠智城以前の山鹿地域—	山鹿市教育委員会 主任主事 佐治 健一
14	2月 6日(日)	四十九池神社の祭礼 —受け継がれる楽と花火—	玉名市教育委員会 技術主任 大倉 千寿
15	2月20日(日)	鞠智城研究の地平 —現状と課題、そして目指すもの—	熊本県立装飾古墳館 館長 村崎 孝宏
16	3月13日(日)	文化財保護を振り返る —発掘調査、遺跡から学んだこと—	熊本県立装飾古墳館 館長 村崎 孝宏

○ 前期講座 7月から9月にかけて5回を実施済（たくさんのご参加ありがとうございました。）

1	7月 4日	黄泉の国への道標Ⅰ（九州編）—古代人が刻んだ死生観—	坂口圭太郎
2	7月18日	いにしへの蓮の装飾—蓮華文の系譜—	三木ますみ
3	8月 1日	熊本藩の治水・利水事業と手永・惣庄屋制—白川流域を中心に—	今村 直樹
4	8月29日	黄泉の国への道標Ⅱ（本州編）—海を渡る古代人の想い—	坂口圭太郎
5	9月 5日	戦史が語る平和への思い—平和への誓約・日豪を結ぶ絆と運命—	牛島 克彦

○ 中期講座 9月から12月にかけて6回を実施済（たくさんのご参加ありがとうございました。）

6	9月19日	鞠智城を考えるⅠ 築城の担い手を考える・研究の現状と課題	岡本 真也
7	10月 3日	鞠智城を考えるⅡ 古代の菊池川水運と上小田宮の前遺跡	廣田 静学
8	10月17日	鞠智城を考えるⅢ 土器から見る古代山城	木村 龍生
9	10月31日	細川のお殿様と山鹿 —温泉・交通・宿場—	川路 祥隆
10	11月21日	鞠智城を考えるⅣ 大宰府の外郭と交通路	小鹿野 亮
11	12月 5日	崇め・鎮め・祀る —災害と疫病の民俗学—	樋口 和紀